

輸出事業計画

※申請者名：有限会社カネ政商店、品目：カンパチ

1. 輸出における現状と課題

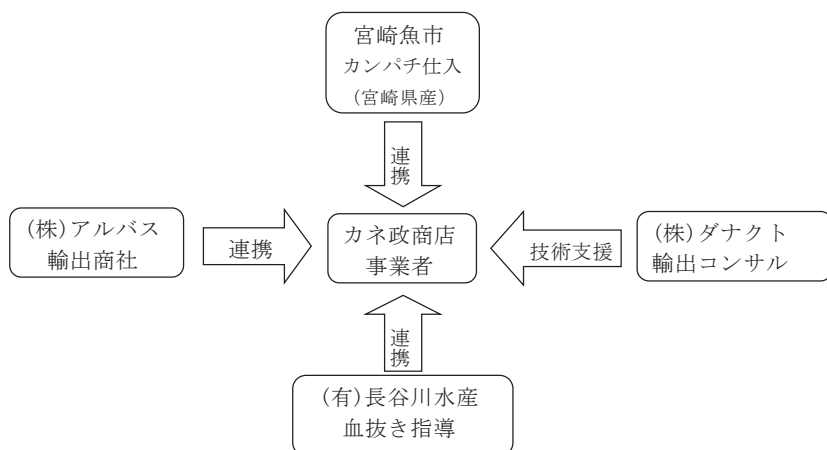
これまでに輸出実績はないが、今後、中国へカンパチの輸出を計画している。中国への輸出にあたっては輸出促進法に基づく適合施設の認定を求められているため、その取得が必要となる。

また、輸出にあたっては、チルドでの出荷が望ましいが、現在コロナの影響で空輸便が少なく、定期的な供給が難しい。一方で、船便での輸出では販路や配送日数等の問題が生じることもあり、安定した出荷体制を整えることが課題となる。

2. 輸出事業計画の取組内容

上記適合施設の認定の取得に向け、令和4年度には、HACCPハード事業を活用し、加工場の新設を行う。流通に関しては、幅広い注文に応えられるようにするため、冷凍・チルド両方に対応できるような体制とする。輸出商社を通じた商談等により販路を拡大するとともに、弊社の津本式を施したカンパチに付加価値をつけ、通常流通しているカンパチとの差別化を図り、現地の百貨店や高級スーパー、一般的なスーパー等での小売りや、外食産業をメインに中所得者層をターゲットとして進めていく。

3. 輸出事業計画の実証と見直しを行うためのPDCA実施体制



有限会社カネ政商店が当該体制の中核となり、輸出先国のニーズ、課題等の情報をもとに、宮崎魚市とは県内養殖の加工用カンパチの安定供給体制に向けた検討を行い、実施スケジュールを見直し更新するなど、PDCAサイクルを回しながら推進していく。

4. 輸出目標額

商社を通じた商談等を行いながら販路拡大活動を展開する事で、下表のとりの輸出売り上げ目標を目指す。

	現状（令和3年）	目標（令和9年）
輸出額（円）	—	31,680,000
輸出量（t）	—	7.9
輸出先国	—	中国